

『枕草子』グループ群読

『枕草子』「春はあけぼの」グループ群読の発表

(1) 発表方法

順番に6つのグループが発表しました。発表のグループ以外の生徒には、よかったところやアドバイスなどをメモしながら聞くよう指示しました。この相互評価が、次の群読への意欲づけになるものと考えました。

(2) ワークシートの工夫

個人台本、グループ台本、相互評価と、すべてが一枚に収まるようにしました。個人台本とグループ台本は、上段に個人、下段にグループと上下に並べて書けるようにし、見やすくしました。また、群読の分担を自由に書き込めるような形のものも準備しました。

〈相互評価から〉

(1班)

男女がペアで言うところが合っていた。チームワークがいいのではないのかなと思った。

(2班)

春のところを女子だけで読んだのがよかった。間のとり方が上手だった。

(3班)

声がきれいに合っていてよかった。分担もよくできていた。「三つ四つ、二つ三つなど」が上手だった。

(4班)

一人で言うところが多かったので、もう少し複数でもいいと思った。

(5班)

声が大きいくところと小さいところがあった。強弱をつけてあったようでよかった。声の量がすごく出ていた。

(6班)

複数で言うところがよく合っていた。強調したいところをのばしてあって工夫されていてよかった。

(3) 自己評価カードの工夫

個人台本を作ることができたか、グループで協力して台本をつくり、練習することができたか、それぞれ確認できるようにしました。また、本時の目標であるグループ群読がどの程度できたのか、把握できるようにしました。

〈自己評価カードから〉

私たちの班は、「グループ台本」をつくるのに、とても時間がかかってしまい、練習ができるのか、この台本通りに読めるのか、とても心配だった。しかし、やってみると、みんな上手で発表もうまくいったと思っている。

群読では、班で協力すると楽しいし、ああなるほどというような意見もあるのでよいと思った。他の班の人たちの発表がすごくうまかった。